



# 相模原市文化施設の概要

# 相模原市の文化施設の管理について

相模原市では、相模原市文化会館、杜のホールはしもと、相模原市民会館、相模原南市民ホール、城山文化ホール及び小田急相模原駅文化交流プラザの6つの文化施設を設置し、市民の文化活動や発表の場、文化芸術の鑑賞機会の場を提供しながら、さがみはら文化振興プラン等に基づく多彩な市民文化の振興に努めています。

上記6つの文化施設については、区ごとの特性などを踏まえた文化振興を図っていくという観点から、南区、中央区、緑区の3区でグルーピングをしたうえで、指定管理者による管理運営を行っています。

## 南区の文化施設（グループ①）

相模原市文化会館、相模原南市民ホール、小田急相模原駅文化交流プラザ

## 中央区の文化施設（グループ②）

相模原市民会館

## 緑区の文化施設（グループ③）

杜のホールはしもと、城山文化ホール

## 指定管理者の主な業務(6施設共通)

- 施設の維持管理
- ホール及び諸室の運営
- 文化事業の実施
  - ①企画提案型事業
  - ②自主事業
- その他(事業計画書・報告書の作成、利用者アンケートの実施など)

## 文化施設の課題

- 効果的・効率的なグループینگ
- 参入しやすい公募条件
- 施設の大規模改修などに伴う長期休館期間中の指定管理業務の取り扱い

# 相模原市文化会館(相模女子大学グリーンホール)

相模原市文化会館は市民が芸術文化を鑑賞する機会や文化活動を行う場を提供し、文化の香りあふれる都市の創造に寄与するため、設置された施設です。

大ホールは近隣市町村の中でも最大規模の客席数を有する本市のフラッグシップ的施設で、市民の発表活動が行われるとともに、伝統芸能の公演や優れた芸術作品が上演されるなど、文化芸術を継承・創造・発信する場となっています。



## 施設概要(相模原市文化会館)

所在地	相模原市南区相模大野4-4-1 (グリーンホール相模大野内)
開館年度	平成元年度
規模	敷地面積 9,842.90㎡ 文化会館部分延床面積 14,725.99㎡ ※駐車場及び共有部分を含む。 [参考] 図書館 3,723.92㎡ メディカルセンター 3,787.82㎡
構造	鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階
主な施設	1～4階 大ホール(1790席または1240席) 2階 多目的ホール(移動席240席。可変床。段床式または平土間形式) 地下1階 リハーサル室、練習室、駐車場
休館日	12月28日から1月3日まで 保守点検日ほか
開館時間	午前9時から午後10時まで (受付開始時間は午前8時30分から)
アクセス	小田急線「相模大野駅」北口より徒歩約8分

## 【外観】



## 【周辺図】



## 施設の特徴(相模原市文化会館)

- 相模大野図書館、南メディカルセンターを含む複合施設となっており、施設全体の保守点検、管理などは指定管理者が実施している
- チケット販売システム(文化施設6施設が利用)の管理運営
- ネーミングライツを導入(相模女子大学)

## 施設の課題

- 施設の老朽化(ホール部分はH17に一部修繕実施)
- 5年以内に施設改修に伴う長期休館(大ホール1~2年、多目的ホール半年程度)が見込まれる

## その他

- 数年内に旧伊勢丹相模原店跡地に高層マンションが建設予定
- 令和5年に旧伊勢丹相模原跡地内の公共歩廊が開通する見込みである(現在は相模大野中央公園を迂回する順路となっている)
- 相模大野駅周辺の活性化、エリアマネジメントに寄与する事業展開を期待する

# 相模原南市民ホール

相模原南市民ホールは、市民の文化の向上及び福祉の増進に寄与するために設置された施設です。  
南区合同庁舎に併設しており、発表会や演劇鑑賞などの場として長年市民に親しまれてきました。



## 施設概要(相模原南市民ホール)

所在地	相模原市南区相模大野5-31-1 (南区合同庁舎内1~3階の一部)
開館年度	昭和58年度
規模	敷地面積 7,596.61㎡ ホール床面積 1,476.68㎡
構造	鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階
主な施設	ホール(400席)、楽屋
休館日	12月28日から1月3日まで 保守点検日ほか
開館時間	午前9時から午後10時まで (受付開始時間は午前8時30分から)
アクセス	小田急線「相模大野駅」北口より徒歩10分 相模原市南区合同庁舎内

## 【外観】



## 【周辺図】



## 施設の特徴(相模原南市民ホール)

- 南合同庁舎とは1本の通路で繋がっており、構造的にはほぼ単独の施設である
- 光熱水費、清掃委託費、警備費等は南区役所で支払っているため、指定管理料には含まれていない

## 施設の課題

- 施設の老朽化
- 行財政構造改革プランにおいて公共施設の見直しの対象施設に位置付けられており、5年以内に南区内の類似施設へ集約化する必要がある

## その他

- 特になし

# 小田急相模原駅文化交流プラザ(おださがプラザ)

おださがプラザは、市民が行う参加・体験型等の多様な文化・交流活動などを通して、市民の文化の向上及び相互交流の促進に寄与するため、多目的な利用が可能な施設として設置されました。多様な利用が可能な多目的ルームと、打合せ等に適したミーティングルームを備えています。



## 施設概要(おださがプラザ)

所在地	相模原市南区南台3-20-1 ラクアル・オダサガ4階
開館年度	平成19年度
規模	敷地面積 5,275.58㎡ 延床面積 881.11㎡ (うちプラザ専有面積 489.73㎡)
構造	鉄筋コンクリート造 地上4階地下3階
主な施設	多目的ルーム(定員175人) ミーティングルーム1・2
休館日	12月28日から1月3日まで 保守点検日ほか
開館時間	午前9時から午後10時まで (受付開始時間は午前8時30分から)
アクセス	小田急小田原線「小田急相模原駅」北口を出て左側「ラクアル・オダサガ」4階

## 【外観】



## 【周辺図】



©OpenStreetMap

## 施設の特徴(おださがプラザ)

- 小田急相模原駅前の複合ビル「ラクアル・オダサガ」の4階に位置する
- 多目的ルームは3分割して利用することが可能(ただし遮音性は低い)
- 展示会、バレエや音楽の練習、会議など多様な目的で利用可能

## 施設の課題

- 地元以外の知名度が低い

## その他

- 他の商業施設との連携や駅前ペDESTリアンデッキを活用した事業展開を期待する

# 相模原市民会館

相模原市民会館は市民の文化の向上及び福祉の増進に寄与するために設置された施設です。ホール棟と会議室棟を活用することで、文化芸術に関心のある潜在的な市民の発掘から作品の創造や発表の場の提供に至るまで、幅広く市民の自主的な文化活動を支援し、市民の文化芸術意欲の向上を図ることを目指しています。



## 施設概要(相模原市民会館)

所在地	相模原市中央区中央3-13-15
開館年度	昭和40年度(平成3・4年度ホール改築、平成9年度会議室棟改築)
規模	敷地面積 6,122.90㎡ 延床面積 6,918.32㎡
構造	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 地上4階地下1階
主な施設	ホール(1,270席) 第1・2大会議室、第1～3中会議室、講習室、第2～6小会議室、あじさいの間、けやきの間、ひばりの間、応接室、食堂
休館日	12月28日から1月3日まで 保守点検日ほか
開館時間	午前9時から午後10時まで (受付開始時間は午前8時30分から)
アクセス	JR横浜線「相模原」駅南口から徒歩20分 神奈川中央交通バス「市民会館前」下車すぐ

## 【外観】



## 【周辺図】



## 施設の特徴(相模原市民会館)

- ホールの隣に会議室棟があり、一体的に管理をしている。ホール棟、会議室棟は外見上接続した施設となっている(入場者はそれぞれ別の入口から入場する)
- 市役所本庁舎を始めとする公共施設が集まる地域に立地
- 施設エントランス前に広場がある
- 会議室棟地下にレストランがあり、レストランの運営も指定管理者業務に含んでいる

## 施設の課題

- 新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用率及びレストラン事業の売上の低下
- 新しい生活様式に対応したパーティールームの利用(大人数のパーティ、カラオケなど)
- 施設の老朽化(ホール部分はH25に大規模修繕実施)
- 駅からのアクセス(市役所駐車場は有料で利用可能)

## その他

- 5年以内に休館を伴う施設修繕を行う可能性がある(3か月程度)
- 市民会館前広場を活用した事業展開を期待する

# 杜のホールはしもと

杜のホールはしもとは、市民が音楽、演劇等の芸術文化を鑑賞することができる機会及び市民が自ら芸術文化活動を実践することができる場を提供し、豊かな市民文化の創造に寄与するために設置された施設です。

ホールの響きの良さ、橋本駅前という好立地にあることなどが特長です。



## 施設概要（杜のホールはしもと）

所在地	相模原市緑区橋本3-28-1 (ミウイ橋本7~9階)
開館年度	平成13年度
規模	敷地面積 8,626.18㎡ 延床面積 9,601.10㎡ (うちホール専有面積 6,370.86㎡) 駐車場 135.13㎡
構造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） 地上9階地下2階
主な施設	ホール（535席）、多目的室（平土間タイプ 定員約200人）、セミナールーム1・2、 練習室1~3、音楽スタジオ
休館日	12月28日から1月3日まで 保守点検日ほか
開館時間	午前9時から午後10時まで (受付開始時間は午前8時30分から)
アクセス	JR横浜線・相模線、京王相模原線「橋本駅」 北口を出て右側「ミウイ橋本」7・8階

## 【外観】



## 【周辺図】



©OpenStreetMap

## 施設の特徴(杜のホールはしもと)

- 駅前商業ビル内に設置された施設である
- 区分所有の施設で、施設全体は管理組合で管理している

## 施設の課題

- 商業ビルの7・8階にあり、大規模な設備等の運び込みのための搬入経路確保が難しい  
※裏手に大型の業務エレベーターは設置されている。
- 座席数が535席と多くはないので、大規模なイベント誘致が難しい
- 施設の老朽化
- 5年以内に施設改修に伴う長期休館の可能性がある。(1年程度)

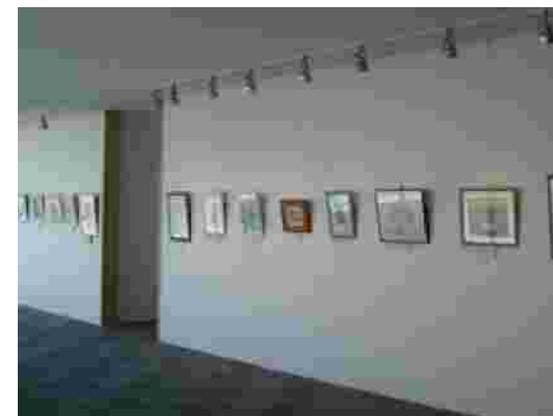
## その他

- リニア中央新幹線の神奈川県駅の設置が予定されている橋本駅に隣接
- ビル内にあるインナーガーデンを活用した事業などが期待される

# 城山文化ホール(もみじホール城山)

城山文化ホールは、市民が行う様々な文化芸術活動及び交流活動を通して、豊かな市民文化の振興に寄与するために設置された施設です。

近隣には公民館や城山まちづくりセンターがあり、地域活動の拠点の一画として、身近な施設となることを目指しています。



## 施設概要（城山文化ホール）

所在地	相模原市緑区久保沢2-26-2
開館年度	平成24年度
規模	敷地面積 2,646.05㎡ 延床面積 1,395.99㎡ 駐車場 1,302.75㎡
構造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地上2階
主な施設	多目的ホール（可動席298席、段床式ホールまたは平土間形式としての利用可） リハーサル室、ギャラリー、駐車場
休館日	12月29日から1月3日まで 保守点検日ほか
開館時間	午前9時から午後10時まで （受付開始時間は午前8時30分から） ※ただし、午後6時以降に利用がない場合は午後6時までとし、午後6時以降に利用があり、かつ、午後10時前に終了する場合は当該施設の利用が終了するまで
アクセス	JR横浜線・相模線・京王相模原線の「橋本駅」からバス「三ヶ木」行きで「城山総合事務所入口」下車、徒歩10分

## 【外観】



## 【周辺図】



## 施設の特徴(城山文化ホール)

- 平成24年に開設した施設で、本市の文化施設の中では最も新しい
- ホワイエに絵画や写真を飾れるギャラリーがある

## 施設の課題

- 駅から遠く、アクセスが悪い
- 大人数が集まるイベントのときは駐車場が不足する場合がある

## その他

- 地域や公民館等の周辺施設と連携した事業などが期待される